

# 平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	福山市立春日小学校
-----	-----------

## 1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

### (1) 朝食喫食と朝食内容

昨年度の5年生の朝食喫食率は、91.0%と県平均の94.8%を下回っていた。また、主食・主菜・副菜のそろった朝食を食べている児童の割合は、53%であった。食べることを児童に理解させ、成長に見合った栄養摂取をもとに、児童の体力の向上を図る。

### (2) 食環境の整備

本校では、物を大切にすることを育てるとともに、落ち着いた行動を身に付けさせることにより、食器破損の数量を減少させることを目指している。昨年度の食器破損数は26枚であった。「学習の場」から「食事の場」への意識の切り替えを行い、食器破損数のさらなる減少を目指す。

## 2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

### (1) 朝食喫食と朝食内容の改善

【成果指標】「朝食を毎日食べている」および「主食・主菜・副菜のそろった朝ごはんを食べている」  
(5年生)

【目標値】100%および70%

### (2) 食環境の整備

【成果指標】年間の食器破損数

【目標値】20枚以下

## 3 食育の目標に対する具体的な取組

### 【取組1】（テーマ）高学年家庭科等での指導

- 5年生家庭科「食べて元気！ご飯とみそ汁」での調理指導や6年生家庭科「まかせてね！今日の食事」でのティームティーチングによる指導を行った。



### 【取組2】（テーマ）家庭科クラブによる「みそ丸」の普及

- 家庭・地域へ向けての取組として、文化祭（11月4日）では、家庭科クラブ児童（4・5・6年生）が自ら考案した「みそ丸」5種と手作りの箸袋の100セットを販売した。「みそ丸」には、広島の特産品であるわけぎを使ったものや梅干しを使い風味を工夫したものなどがあった。「みそ丸」は、即席でできるみそ汁の素で、忙しい朝のみそ汁として昨年度から取り組んでいる。当日にレシピを同封し、家庭でも簡単に手作りできるよう工夫したり、文化祭でのクラブの活動の様子を校内に掲示するなどして普及に努めた。



### 【取組3】(テーマ)『ランチョンマット』の使用

- ・ 保護者の協力を得て、『ランチョンマット』の使用を開始した。給食指導の内容に、ランチョンマットの扱いが加わり、配膳がスムーズにかつ安全にできるように、担任が給食指導を行っている。



## 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

### 【福山市での取組】

- ① 10月15日の献立「ひろしまオールスター★担々丼 福の山スープ みかん 牛乳」  
当日、給食通信で『ひろしま給食』についてPRした。
- ② 福山レシピ賞

本校5年生児童の『わけぎのぶたバラまきまき』が8作品のひとつに選ばれ、レシピ集を家庭に配布し、その普及に努めた。



### 【本校での取組】

- ① 本校では、高学年家庭科での取組として、毎年「メニューとキャッチコピー」について応募している。高学年以外は自由応募としており、今年度は4年生分を含め180点の応募があった。
- ② 本校4年生児童の『広島いっぱいホイル焼き』が、広島県の「朝食メニュー」12作品のひとつに選ばれ、リーフレットを家庭に配布し普及に努めた。
- ③ 本校卒業生の『おいC!ヘルC!とり肉の広島レモンしょうゆ丼』をバーガーにアレンジし、春日小を含む北東ブロック校8校において、7月12日の給食として、児童に提供した。



「おいC!ヘルC!とり肉の広島レモンしょうゆバーガー 夏野菜スープ すいか 牛乳」

## 5 取組に対する成果と課題

### 【成果】

- (1) 朝食喫食と朝食内容の改善

7月および11月の食生活アンケートにおいて、「毎日朝食を食べる児童の割合」は、95.1%から100%に増えた。また、「主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている児童の割合」は、74.4%から73.4%と少し減少したが、そのうち“よく当てはまる”と答えた児童の割合は、23.2%から29.1%と増加している。そして、11月の割合は、いずれも県平均(95.8%および62.9%)を上回っており、成果が見られた。

- (2) 食環境の整備

『ランチョンマット』を使用したことが、担任の先生方による配膳方法の工夫や児童の意識の切り替え(教室を「勉強する場」から「食事をする場」)につながり、食器破損数の減少につながったと考えられる。(平成29年度:26枚,今年度3月1日現在:21枚)

目標値の達成には至らなかったが、同規模校の中では、かなり低い数値となっている。

### 【課題】

- ・ 朝食の内容については、「主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている児童の割合」は、73.4%であるが、「主食・主菜・副菜のそろった朝食を食べることは大切なことだと思う児童の割合」は、98.7%であり、行動と意識の差が25.3%ある。
- ・ 食器破損が複数回におよぶ学級がある。

## 6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・ 学校での取組が定着するように、朝食内容の向上に結び付く情報発信を引き続き行っていく。家庭と学校の双方向の情報発信の方法を導入する。
- ・ 市の給食指導の手引きを活用し、給食指導の平準化を前提とし、加えて児童の実態にあわせた給食指導ができるように、組織的にすすめていく。